

# 湘南まちいくプロジェクト

## 2015 年度 事業報告書

2016 年 7 月

〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬 1-5-39

[e-mail] info@shonan-machiiku.com [URL] <http://shonan-machiiku.com/>

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

### 団体概要

---

#### ■概要

湘南まちいくプロジェクトは、高校生一人ひとりが「まちのつくり手」になってほしいという願いから、高校生がまちに参画する機会を湘南地域で幅広く作っていく、大学生・院生や若手社会人などによるプロジェクトです。

#### ■目的

高校生がまちに参画する機会を幅広く展開することを通して、湘南地域の「まちのつくり手」を育ていく。

#### ■事業内容

- (1) 高校授業実践協力事業：湘南地域の高校で、生徒が地域課題解決に取り組む授業への協力を行う。
- (2) 高校生課外活動事業：高校生を対象に、地域への参画の機会を提供する（「まちつくクラブ in 湘南」）。
- (3) 行政連携・協力事業：行政による、高校生の地域・社会参画の取り組み等への協力を行う。
- (4) 啓発・提言事業：子ども・若者参画やシティズンシップ教育等に関する勉強会・報告会などを実施する。

#### ■組織概要・体制

- ・代表 古田 雄一（筑波大学大学院博士後期課程）
- ・副代表 金子 美穂
- ・会計 市原 大輝
- ・支援者 笹井 宏益（国立教育政策研究所）
- ・2015 年度会員数 16 名
- ・設立 2012 年 8 月

## 2015 年度事業報告

### (1) 高校授業実践協力事業

#### ■湘南学園高等学校 総合学習サポート

前年度に引き続き、本年度も、湘南学園高等学校の総合学習のサポートを行った。

##### 1) 高1 総合学習委員のサポート (6月～7月)

教員とともに総合学習の企画立案・運営を中心的におこなう、「総合学習委員」を務める高1生10人を対象に、計3回にわたり、企画立案のサポートを行った。

[日程] 2015年6月17日(水)、6月30日(火)、7月7日(火)

[参加者] 総合学習委員の高1生10名

[内容]

- ① 総合学習で取り扱うテーマを選定するため、委員自身が普段生活していて気になる問題やニュースなどを手掛かりに、ブレインストーミングを行い、テーマを洗い出すサポートを実施した。
- ② 各テーマで具体的に学習のイメージを膨らませるため、テーマに関係するステークホルダーやテーマに関連した具体的課題の洗い出しを行うとともに、フィールドワークなどの調査法についても助言を行った。

##### 2) その他のサポート・協力

- ・湘南学園中学校・高等学校における総合学習/ESDのカリキュラム改革に向けた、他校の実践事例の紹介や視察などに協力した(東京都1校・長野県2校の事例を紹介し視察をコーディネート)。
- ・前年度サポートしていた高2生の自主的活動に参加・協力した。

### (2) 高校生課外活動事業

#### ■まちつくクラブ in 湘南

2015年度も、前年度に引き続き、湘南地域の高校生を対象とした社会教育プログラム「まちつくクラブ in 湘南」を実施した。「まちつくクラブ in 湘南」は、藤沢・鎌倉を中心とする湘南地域在住・在学の高校生が、学校を越えて集まり、グループに分かれてまちの課題の解決に取り組む企画を立案し、実行するという活動である。活動では、弊団体のメンバーが、サポーターとして高校生の活動を支える役割を担った。概要は以下の通りである。

[期間] 2015年5月31日(日)～12月31日(木)

[参加者] 中学生1名(3年生)、高校生1名(2年生)

[参加者所属校] 緑ヶ丘女子中学校、鎌倉高校

[主な活動拠点] 藤沢市市民活動推進センター、藤沢青少年会館 等

[主催・共催・協力・後援]

主催: 湘南まちいくプロジェクト

共催: 公益財団法人藤沢市みらい創造財団(共催支援事業)

協力: 認定特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会

認定特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

後援: 藤沢市

本年度は、対象を「高校生」から「中学生・高校生」に広げた。活動では、昨年度と同様に、事前にテーマを設定せず、中高生自身の関心を丁寧に引き出すところから活動を始めた。その中で、中高生と高齢者のつながりや交流が少ないのではないか、という問題意識が見えてきた。参加高校生が老人ホームに訪問した経験や、家族や身の回りの人に福祉関連の仕事をしている人がいることが、その背景にあったようだ。そこで、藤沢市市民活動推進センターを利用する高齢者や参加者の友人にアンケートをとり、企画内容を検討した。その結果、カラオケや卓球、昼食を食べながらの懇談を通して、中高生と高齢者の交流を深める企画を開催することとなった。地域の学校の教室をお借りして、8月に以下の通り企画を実施した。

[企画名] はじめよう！湘南の世代を超えた絆のラリー  
[日時] 2015年8月21日（金）10時00分～15時30分  
[場所] 湘南学園中学校・高等学校  
[参加者数] 中高生4名、高齢者5名

また、一連の活動が終了したのち、11月には以下の通り、活動報告会「まちレポ!!」を実施した。

[日時] 2015年11月3日（火・祝）13時00分～16時00分  
[場所] 藤沢市市民活動推進センター 会議室 A  
[参加者] 16名

### (3) 行政連携・協力事業

#### ■「被災地でつながろう 考えよう サマープログラム 2015」への協力

平成27年度藤沢市まちづくりパートナーシップ事業「高校生のシチズンシップ教育の普及事業」として、認定特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会と藤沢市が協働で実施する、「被災地でつながろう 考えよう サマープログラム 2015」において、弊団体代表・古田がプログラムアドバイザーを務めた。本プログラムは、東日本大震災発生から4年が経った今、高校生が被災地の現状や同世代の復興にむけた活動の様子を知り、「高校生にできること」を考えるプログラムである。

[日程] 2015年7月11日（土）～9月27日（日）  
[プログラム]  
・事前研修（7月11日・22日・8月1日・12日） 場所：湘南台公民館、藤沢市市民活動推進センター  
・被災地研修（8月17日～19日） 訪問先：宮城県石巻市・南三陸町  
・事後研修（8月22日・27日） 場所：藤沢市市民活動推進センター  
・活動報告会（9月27日） 場所：新堀ライブ館2階 ミュージアムⅡ  
[参加者] 20名

※なお、プログラム終了後も、参加高校生の一部が自主的に活動に取り組んでおり、そのサポートも継続的に行っている。

### (4) 啓発・提言事業

(2015年度は該当事業なし。)

## 2015年度の総括と2016年度に向けて

---

私たち湘南まちいくプロジェクトは、本格的な事業をスタートしてから、2015年度で3年目を迎えました。本年度は、主催事業「まちつくクラブ in 湘南」に加え、湘南学園高校への継続的サポート、また藤沢市市民活動推進連絡会と藤沢市の協働事業への参画と、学校・地域・行政と幅広い場で取り組みを行う機会に恵まれました。日頃より私たちの活動を支えていただいている皆様に、改めて御礼申し上げます。

高校生と接してあらためて感じることは、高校生が発した声を受け止めてくれる場所、あるいはその思いを形にすべく伴走してくれる人の存在が、彼らにとって大きな後押しになるということです。同時に、そうした場所をさらに広げていく必要性も強く感じます。高校生だけでなく、私たち大人も、また変わることが求められているのだと思います。

弊団体は、活動規模においても、組織運営においても、まだまだ課題が多いのが現状です。私たちの力だけではできることに限りもあります。私たちとつながる皆様とともに、高校生の声と力が生かされ、高校生が「まちのつくり手」として成長していける、そんな社会をともに作っていきたく強く願っております。今後も皆様のご協力とご指導を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

湘南まちいくプロジェクト  
代表 古田 雄一